

“保育難民” 非常事態!!

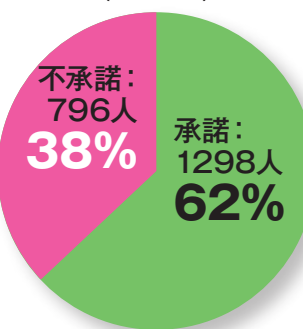


問題点と解決策は

「保育園落ちた日本死ね」というタイトルの匿名ブログを機に改めて、保育園の待機児童問題が社会問題として注目されています。中野区でも4月入園の認可保育園の選考結果では、38%もの不承諾（入園不可）が生じる事態になっています。

杉並区や世田谷区では、公的施設を活用した保育室や仮設園舎などで受け入れ枠の拡大を行っています。自治体には児童福祉法第24条に基づいた保育の実施責任があります。中野区も民間誘致ばかりでなく、待機児童解消のために積極的に施策をとるべきです。

中野区の4月入園の認可保育園の選考結果（一次選考）



待機児童問題の解決策

- 自治体が責任を持って公立の認可保育園を増設
- 保育士の給料の抜本的引き上げを行う

【児童福祉法第24条（要旨）】

市町村は、～中略～ 幼児その他の児童について保育を必要とする場合において、当該児童を保育所において保育しなければならない。

戦争法廃止の世論を!

昨年9月に強行採決された安保法制＝戦争法。民主主義と立憲主義をふみにじり、日本を「海外で戦争できる国」にすることは許せません。戦争法廃止を求める署名が大きく広がっています。ぜひご協力ください。



署名を呼びかける羽鳥区議

第1回定例会日誌

- ①2月19日/本会議 長沢議員が子どもの貧困対策で実態調査を求めるも、区長は冷たく拒否。また、ニーズ調査もなく区立幼稚園について「役割は終わった」と答弁。
- ②2月22日/本会議 広川議員が質問。児童館・U18プラザ全廃問題では、多くの区民の不安をよそに方針の見直しはしないと答弁。
- ③2月26日/予算特別委員会 浦野議員の質疑で基金総額が609億円に達することが明らかに。しかし区は“財政非常事態”を撤回せず。
- ④2月29日/予算特別委員会 いさ議員の質問をきっかけに区役所内に「ヘイトスピーチ、許さない。」のポスターが貼られることに。
- ⑤3月1日/予算特別委員会 小杉議員の質問によりこの十数年で国民健康保険料が約1.5倍になり、多くの滞納が発生している現状が明らかに。
- ⑥3月2日/予算特別委員会 党区議団は区民要求実現のため、予算案歳出の1.4%を組み替えることを求める動議を提出。
- ⑦3月9日/予算特別委員会 党区議団が提出した予算組み替えを求める動議は審議の結果、賛成少数で否決される。
- ⑧3月10日/本会議 羽鳥議員が党区議団の立場から、予算案に反対の討論を行う。
- ⑨3月14日/子ども文教委員会 区立幼稚園の存続を求める陳情などが審議される。共産党は採決を主張するも、多数決で継続審議と決まる。
- ⑩3月15日/総務・厚生・建設委員会 平和の森公園内への体育館・陸上競技トラック建設に固執した基本計画（素案）が報告される。
- ⑪3月25日/本会議 平和の森公園内への体育館・陸上競技トラック建設に係る設計費用を計上する補正予算案が提出される。党区議団は反対の立場。

相談 受け付けています



生活のこと、地域のこと、なんでもご相談ください
議員団控室／電話：3228-8873
FAX：3389-8657
携帯電話：090-4607-7889

羽鳥だいすけの
日々雑感

人と向き合うことと誠実さ

人間同士でも違いを認め、尊重し合って生きていくのは大変なことです。でもその相手が人間じゃなかったらなおさら!? 主人公の高橋先生が人ならざる“亜人”と接する姿勢には他者を尊重する誠実さを感じ、彼をととても魅力的な人と思います。人と対峙するときの大事なことを学んだ気がします。



ベスト「亜人ちゃん」は語りたい!

★このコラムでは、地域のこと、私のことなど、雑多な中身をご紹介していきたいと思っています。

日本共産党中野区議会議員 あなたの声を、区政に活かす
羽鳥だいすけの区政報告 No. 10

はばたき通信



●メールアドレス
hatoridaisuke89@yahoo.co.jp
●自宅
TEL/FAX: 03-6677-7404
●区議団控室
TEL: 03-3228-8873
FAX: 03-3389-8657
●ホームページ
羽鳥だいすけ WEB検索
ツイッター、フェイスブックもやっています!

新年度予算

2016年度は95億円のためこみ

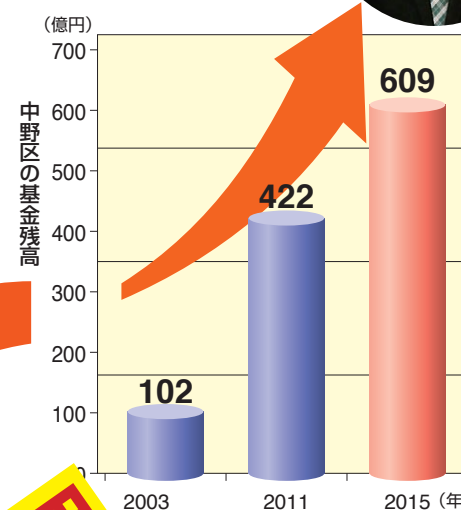
巨額のためこみを行いながら
いまだに続く「財政非常事態」!?

予算案への反対討論
に立つ羽鳥区議



2016年度の中野区予算が可決されました。党区議団は予算案が、①区民生活に寄り添うことなく年度当初から95億円もの基金積立を行うものであること、②中野駅周辺に35億円など大規模開発に偏重した支出を見込んでいること、などから反対の立場をとりました。

党区議団は引き続きみなさんと力を合わせて、区民施策の向上に力を尽くしていきます。



基金609億円のわずか3% 17億円の活用でこんなことも

子育て・教育

- 子どもの貧困実態調査
- 公有地活用で認可保育園の増設
- 小中学校の特別教室へのクーラー設置

福祉・健康

- 特別養護老人ホーム増設支援
- 子どもへの内部被ばく検査の助成
- 障害者福祉手当の精神障害者への支給

防災・暮らし

- 商店リニューアル助成の実施
- 感震ブレーカー設置への助成
- 若者・ファミリー世帯への家賃助成

議会と区民運動の連携で区民要求が実現しました

予算の中には区民運動と議会との連携で、区民要求が実現したものもあります。

成果1

福祉タクシー券の選択制を導入

障がい者（児）の生活圏拡大や社会参加促進のため、福祉タクシー券と福祉ガソリン券の選択制を導入。

成果2

中学生学習支援事業の拡充

生活困窮者世帯の中学3年生に学習機会を提供し、全日制都立高校への進学に向けた学習を支援。

成果3

保育士確保事業の実施

保育士等の確保のため、宿舎を借り上げて居住場所を提供する保育事業者へ補助を行う。

成果4

在宅レスパイト事業の開始

在宅重症心身障がい児（者）に対して、訪問看護師が自宅に出向き医療的ケアを行う。



これでいいの？ 問題だらけの「10か年計画(案)」

中野区の新たな長期計画である「新しい中野をつくる10か年計画」(第三次)(案)が区民の願いとの間に大きな矛盾を広げています。中野区は何をしようとしているのでしょうか。

児童館・U18プラザ全廃 子どもたちの居場所がなくなる

「U18プラザの中高生利用がのびてない」「ニーズが多様化している」と区は説明します。しかし、現行の区の計画でもU18プラザは中野区にたった9館しか残らない乳幼児親子の大事な交流の場であり、遊び場です。廃止をする理由にはなりません。

●乳幼児親子は“相談の場”である商店街の空き店舗や保育所・区有施設の中に作るとしている子育てひろばに、●小学生は民間委託されたキッズプラザに、●中高生は居場所そのものがなくなり「地域とのつながりや社会貢献に向けた事業をおこなう」とされます。つまり「**区の施設として身近な子育ての拠点をなくしてしまう**」のです。逆に児童館のさらなる充実こそ求められています。

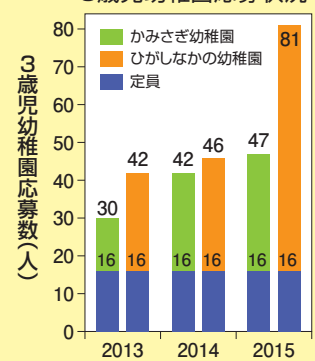


区立幼稚園の廃止・民営化 中野区は幼児教育から実施者として撤退

区はかみさぎ・ひがしなかの2園を廃止し、民間の認定こども園に転換する方針を示しました。区立幼稚園は高い応募倍率であるとともに、私立幼稚園ではなかなか受け入れが難しい、特別な支援を必要とする子どもの受け入れでも大きな役割を果たしています。このような計画は白紙撤回すべきです。



かみさぎ・ひがしなかの3歳児幼稚園応募状況



総額不明の中野駅周辺開発 財政・環境への影響は甚大



② 団町地区



③ 中野駅西口広場と南北通路、駅ビル

2016年度予算では中野駅周辺開発に前年度比6割増の約35億円を支出見込みです。今後も、①区役所・サンプラザ一体開発、②団町地区、③中野駅南北通路、④中野二丁目、⑤中野三丁目と100メートル前後の超高層ビルを含むいくつもの巨大開発が計画されています。事業総額が明らかでない中、今後「補助金」「基盤整備」などの名目でどの程度の税金の支出があるかも不明です。



① 区役所・サンプラザ一体開発



④ 中野二丁目の超高層ビル計画

(区の資料によるイメージ図)

公園を守れ! 批判殺到の「平和の森公園再整備基本計画」(素案)

3月に発表された「基本計画」(素案)の中身が明らかになり、区民に大きな怒りが広がっています。区の報告により明らかになったことをご紹介します。

陸上トラックと草地ひろばの利用者が衝突の危険!?

この位置に全天候型の300メートルトラックを設置するとしています。区は現状と変わりなく利用できるかのように説明しますが、本格的な設備ができれば、日常的なスポーツの拠点として使われます。たくさん子どももいる草地ひろば利用者との衝突をどう防ぐのでしょうか。



陸上競技トラックイメージ

高さ25メートル・幅100メートルの体育館の巨大な壁

新体育館は、高さは7～8階建てビルに相当する25メートルにもなります。草地ひろばの横に巨大な壁が出現します。また、区は体育館利用者が事前のウォーミングアップなどで草地ひろば内トラックを利用することも想定しています。



平和の森公園の現状

少年スポーツ広場の拡張で防火樹林300本を伐採

広場の2400㎡拡張により、外野側の樹木300本あまりを伐採する計画です。「可能な限り移植する」などと区は言いますが、避暑や防火樹林としての機能低下が心配されます。

平和の森公園再整備基本計画素案イメージ図



緑とひろばの防災公園が屋内外のスポーツ拠点に

公園の未開園部分への新体育館建設、草地ひろば内への陸上競技トラック設置、少年スポーツ広場の拡張……。これらによって、平和の森公園の「いつでも・誰でも・自由に・安全に」利用されていた緑とひろばの防災公園としての性格は、体育館とトラックを中心にしたスポーツ拠点へと大きく変わってしまいます。2月末に開催された3回の意見交換会にはのべ120名以上の方が参加。構想案に対する賛成意見は1つもありませんでした。平和の森公園は建設の経緯もふまえて現状のままにし、体育館の設置場所は区民参加で真剣な再検討をすべきです。

拙速なスケジュール! きちんと反映させようとしているのか?

オリンピック前に完成させるスケジュールありきの拙速な計画です。

4月	計画(素案)の説明会(3回)
5月	計画(案)策定、パブリックコメント実施
6月	計画策定、基本設計
2017年度～	工事
2019年度	開設